

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所以降、GH村山独自の経営理念がなく、認知症介護に対する職員の意志統一が、まだ上手く図れていない部分がある。	26年4月からグループホーム村山の経営理念を決定し全職員がその理念方針にむかって認知症介護に取り組んでいる。	1、1月の職員会議にて理念に関するアンケートを職員に配布する。 2、アンケート回収後、各ユニットリーダーと相談し職員会議にて最終判断を行う。 3、理念をわかりやすい場所に貼り出し日々確認する。	6ヶ月
2	13	職員の個々の水準レベルや意識レベルに差が生じており、研修時間の確保や個人の学ぶ意識を向上させる必要がある。	認知症介護に関する基本的接遇をマスターし、プロ意識を高める。	1、個別性を重視する。 2、外部研修等を利用し、持ち帰った知識をホーム内で伝達講習する。 3、ユニットにて実践しリーダーより評価してもらう。	12ヶ月
3	35	地域での災害対策として、地元消防団への地域消防計画参加を呼びかけていきたい。	地元消防団の方々とホームにて消防訓練を定期的に行える。	地元消防団長へ計画の中へ組み込んでもらえるように働きかけ、防災訓練計画へ盛り込んでいただく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。